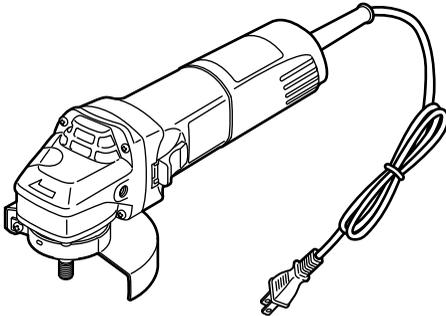


研磨・研削用電動工具

品番

DGSC-ST

変速ディスクグラインダ



各部の名称と機能 2~3

本体各部 2~3

付属品 2~3

安全上のご注意 4~8

ご使用前の警告 4~5

ご使用前の注意 5~6

ご使用中の警告 6~7

ご使用中の注意 7

ご使用後の警告 8

ご使用後の注意 8

ご使用前の準備 9~14

電源スイッチの確認 9

差し込みプラグの確認 9

オフセット砥石について 9

付属のオフセット砥石の取り付け 10~11

付属のソフトパッド・サンディング
ペーパーディスクの取り付け 12~13

サイドハンドルの取り付け 14

砥石カバーの角度調整 14

使用方法 15~21

回転速度の確認 15

電源スイッチの確認 15

使用方法 16

終了手順 17

回転速度調整 18

回転速度調整ダイヤルの回転速度目安 18

加工材・作業による回転速度調整の目安 18

ディスク用パーツの取り付けについて 19

切断砥石の取り付け 19~20

サンディングディスクの取り付け 20

ダイヤモンドホイールの取り付け 21

カップワイヤブラシ/
ベベルワイヤブラシの取り付け 21

保守と点検 22~24

保守と点検 22

カーボンブラシの交換方法 23~24

別売品について 24

故障かな?と思ったら 25

仕様 26

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

このたびは変速ディスクグラインダをお買い求めいただき、ありがとうございます。

この商品は、各種金属、木材、コンクリート、石材、スレートなどに対して、砥石を高速で回転させて研磨、研削をする日曜大工用携帯電動工具です。

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前の前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。

●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。

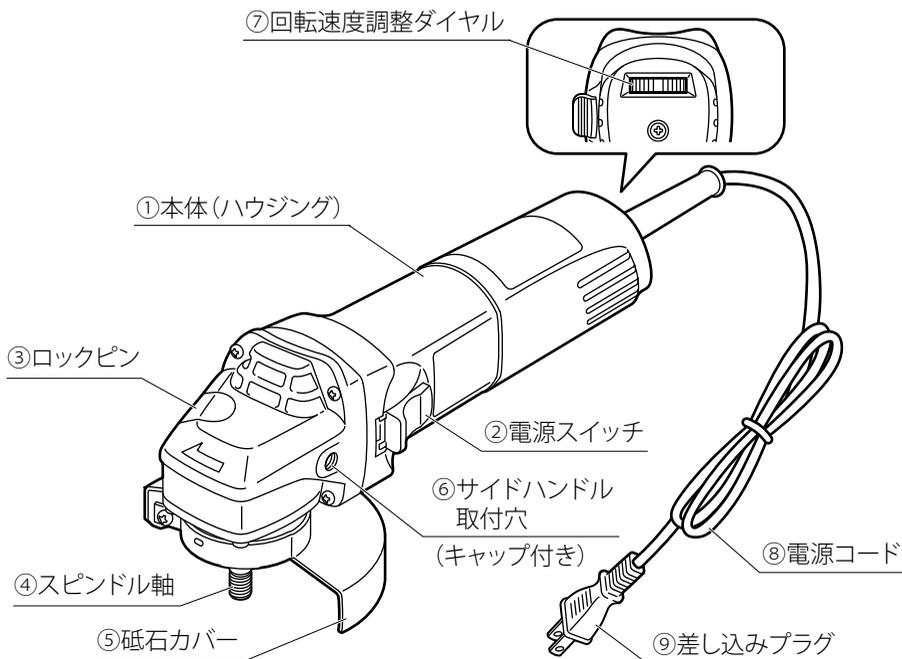
●本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。

●当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社(下記・裏表紙記載)にご連絡ください。



各部の名称と機能

■本体各部



■付属品



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

梱包内容の確認

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。
不足している場合は、販売店または当社までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
①	本体(ハウジング)	機械全体を収納しています。
②	電源スイッチ	電源のON/OFF操作を行います。
③	ロックピン	砥石交換の際、砥石が回転しないように固定します。
④	スピンドル軸	砥石を取り付ける軸です。
⑤	砥石カバー	研磨時に火花や破片が飛散するのを防ぎます。
⑥	サイドハンドル取付穴	付属品のサイドハンドルを取り付けます。左右両方にあります。粉じんの本体内部への侵入を防ぐキャップ付です。
⑦	回転速度調整ダイヤル	加工材や作業に合わせて回転速度を調整します。
⑧	電源コード	電源コードです。
⑨	差し込みプラグ	差し込みプラグです。

※★印部品については、部品として別売もごさいます。部品別売表をご参照ください。

No.	名 称	機 能
⑩	オフセット砥石	外径100mm×穴径15mm×厚さ6mmのレジノイド砥石です。(砥粒A、粒度36、結合度Q、結合剤B相当)
★ ⑪	ソフトパッド	サンディングペーパーディスクを取り付けます。
★ ⑫	サンディングペーパーディスク	木材と金属の加工に使用します。(＃40・＃80 各5枚)
⑬	砥石交換用スパナ	砥石交換時に使用します。
⑭	サイドハンドル	本体に取り付けて使用する補助ハンドルです。左右に付け替えることができます。
⑮	砥石押さえナット	砥石の装着時に、砥石側で砥石を押さえます。
⑯	砥石支えワッシャ	砥石の装着時に、本体側で砥石を支えます。

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠ 警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

⚠ 注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容
『強制事項』です。

⚠ ご使用前の警告



取扱説明書をよく読み、指示に従う。

・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



作業はきちんとした服装で行う。

・作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴等の保護具を着用してください。
・ネクタイ、手袋、袖口の開いた服装は、可動部に巻き込まれる恐れがあります。



作業場の周囲状況も考慮する。

・ディスクグラインダは、雨の中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。
・可燃性の液体や、ガスのあるところでは使用しないでください。



各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認する。



砥石カバーを確認する。

・砥石カバーは砥石が破損した場合の防護具です。取り外しての作業は絶対にしないでください。



切断砥石以外の砥石での切断作業は行わない。

・付属の砥石は研磨・研削用です。切断作業を行う場合は、市販の切断砥石に交換してご使用ください。



切断砥石を使用の際は、必ず別売の切断砥石カバーを取り付ける。

・切断砥石カバーを取り付けずに切断作業を行うと事故やけがの原因となります。



運転前に必ず砥石を点検し、亀裂・割れ等が無いか確認する。

・砥石が破損し、けがの原因となります。



チップソー（丸鋸刃）は使用しない。

・チップソー（丸鋸刃）の使用は、事故やけがの原因となります。



不意な始動は避ける。

・差し込みプラグを電源に差し込む前に、電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。



調整に用いた工具類は必ず取り外す。

・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。



電源コードは乱暴に扱わない。

・電源コードを引っ張ってディスクグラインダを移動させたり、電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線、短絡（ショート）の原因となります。

・電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。電源コードの破損の原因となります。



屋外使用にあった延長コードを使用する。

・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



本機は大切に取り扱い扱う。

・転倒や落下により、破損する恐れがあります。



【事業者の方へ】

砥石の取り替え、試運転は法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせる。

・関連法案

労働安全衛生規則 第36条

安全衛生特別教育規定 第1条・2条

ご使用前の注意



作業場はいつも明るくきれいにする。

・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因となります。



使用電源は必ず銘板に表示してある電圧（AC100V）で使用する。

・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、事故やけが、本機損傷の原因となります。

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠️ ご使用前の注意



試運転を励行する。

・試運転の時間は、砥石交換時3分間以上、その日の作業開始時1分間以上です。



騒音対策を行う。

・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲に迷惑にならないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
・必要であれば遮音壁を設けて作業を行ってください。

⚠️ ご使用中の警告



電源コードの位置を確認し、作業を行う。

・加工時に誤って電源コードを傷めてしまう恐れがあり、大変危険です。



子どもを近づけない。

・作業員以外、ディスクグラインダやコードに触れさせないでください。
・作業員以外、作業場へ近づけないでください。



加工する材料は、バイスやクランプなどで確実に固定する。

・手や足で押さえたりすると跳ね上がることがあり、思わぬ事故につながります。
また、小さくて固定できない材料の加工は危険ですのでおやめください。



電源スイッチをONにしたまま、床などに置かない。



無理な姿勢で作業しない。

・常に足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。



用途にあった砥石を取り付ける。

・研削砥石で切断するなど、用途外の使用をすると砥石が破損し、事故やけがの原因となります。



運転中は砥石および可動部に手や身体を近づけない。

・事故やけがの原因となり、大変危険です。



揮発性可燃物のそばや可燃性の液体、ガスのあるところでは絶対に使用しない。

・モーターが回転する時や加工時に、火花や切屑が飛散します。引火または爆発の恐れがあるため、大変危険です。



運転中、機体の調子が悪かったり、異常に気づいた時は、直ちに運転を中止する。

・そのままの使用は、事故やけがにつながります。

⚠️ ご使用中の警告

- 

砥石の交換は、取扱説明書に従って確実に取り付け。
・不確実な取り付けは、外れて事故やけがの原因となります。
- 

使用する砥石は正規の寸法で、本体の最高使用回転速度・周速度以上の砥石を取り付け、正しい使用面で使用する。
・正規以外の砥石を使用したり、正しい使用面以外で使用すると、砥石が破損し事故やけがの原因となります。
- 

砥石を交換した際、最初に電源スイッチをONにする時は、砥石回転の正面に人を立たせない。
・砥石が破損した場合、事故やけがの原因となります。
- 

不意な始動を避けるため、次の場合はディスクグラインダの電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜く。
・使用しない、または修理・点検する場合
・砥石など付属品を交換する場合
・停電などの時
・本体を持ち運ぶ時
・その他危険が予想される場合
- 

水・研削液などは使用しない。
- 

上向き（定置形）にして使用しない。

⚠️ ご使用中の注意

- 

誤って落としたり、ぶつけた時は、砥石や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検する。
・破損や亀裂、変形がある時は使用しないでください。
- 

運転中はロックピンを押さない。また、ロックピンを押したまま電源スイッチをONにしない。
・砥石に無理な力がかかり、砥石破損や本機故障の原因となります。
- 

本機はDIY用のため、極端に回転速度が低下するような負荷はかけない。
・無理に押し付けるなどの回転速度を大幅に落とすような負荷は、故障の原因となります。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠️ ご使用後の警告



電源スイッチをOFFにした後、差し込みプラグを電源から抜く。

・不意な作動で、思わぬ事故やけがの原因となります。



電源スイッチをOFFにした後も、情性で回転している砥石に注意する。

・手や身体に触れると、けがの原因となります。



加工直後の加工物や砥石は絶対に素手で触らない。

・加工直後の加工面は大変熱くなっています。やけどの恐れがあり、大変危険です。



分解禁止

本機を分解、改造しない。

・事故やけが、故障の原因となります。



損傷した部品がないか点検する。

・そのまま使用していると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因となります。



注意深く手入れをする。

・電源コードや差し込みプラグは定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または当社までご連絡ください。
・本体の持ち手部分やハンドルは常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠️ ご使用後の注意



使用しない場合はきちんと保管する。

・お子様の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けてください。



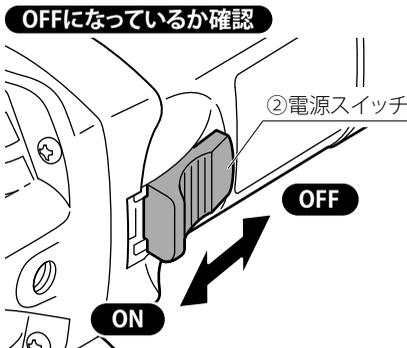
ご使用前の準備

■電源スイッチの確認

電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。



電源スイッチがONの状態、差し込みプラグを電源に差し込むと、不意に始動し、思わぬ事故の原因となります。



■差し込みプラグの確認

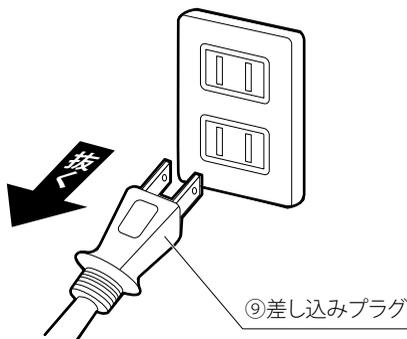
差し込みプラグが電源(AC100V)から抜いてあることを確認してください。



差し込みプラグが電源に差し込まれた状態で付属品の取付等を行うと、不意に始動する恐れがあり、大変危険です。



電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡(ショート)の原因となります。電源コードは乱暴に扱わないでください。



■オフセット砥石について

- 本機に付属のオフセット砥石は、砥粒A、粒度36、結合度Q、結合剤B相当のレジノイド砥石です。
- 砥石の外径は100mmです。60mm位まで摩耗したら市販のオフセット砥石と交換してください。



砥石を交換する際は、亀裂の有無を確認し、亀裂の入っているものは絶対に使用しないでください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



ご使用前の準備

■付属のオフセット砥石の取り付け

オフセット砥石は「金属の研削・荒研削」時に使用します。

使用時は、回転速度も調整してください。

■回転速度の確認 **P15**



砥石は用途に合ったものを取り付けてください。用途外の使用をすると砥石が破損し、事故やけがの原因となります。

最高使用周速度71m/s未満の砥石は使用しないでください。

●砥石の選択表

被削材料の材質	砥石の種類			
	砥粒	粒度	結合度	結合剤
一般用	A	36	P又はQ	B
鋼材、鋳鉄一般	A	36	N	B
特に硬い鋳鉄(マンガン鋳鉄など)	A	36	L	B
硬性非鉄金属(アルミ、亜鉛合金など)	C	20	L	B

1

本体を裏返してスピンドル軸を上に向け、下図の順番に付属品を差し込んでください。

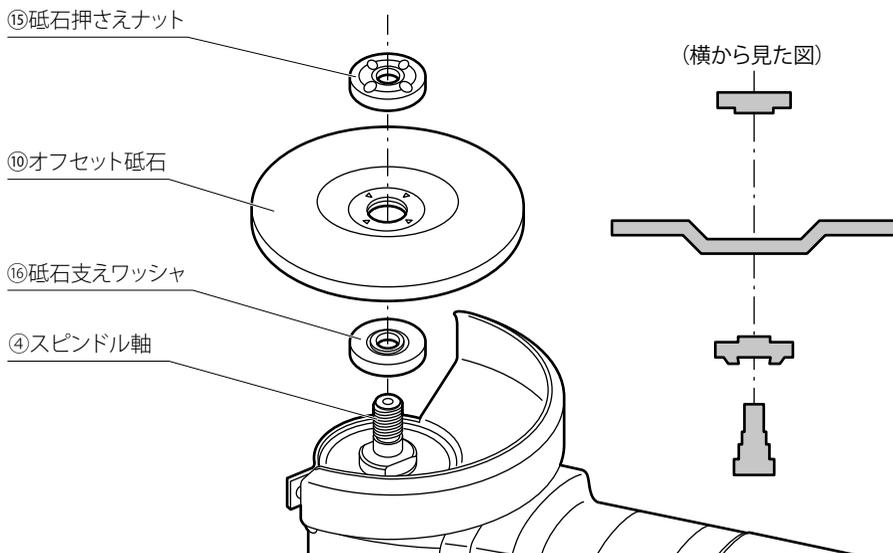
⑮ 砥石押さえナット

⑩ オフセット砥石

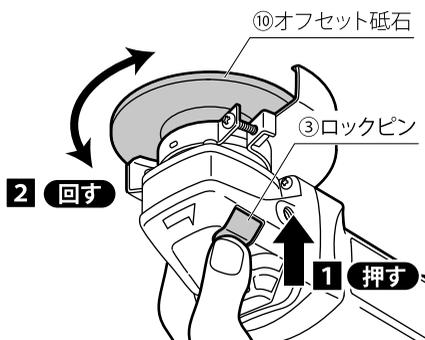
⑯ 砥石支えワッシャ

④ スピンドル軸

(横から見た図)

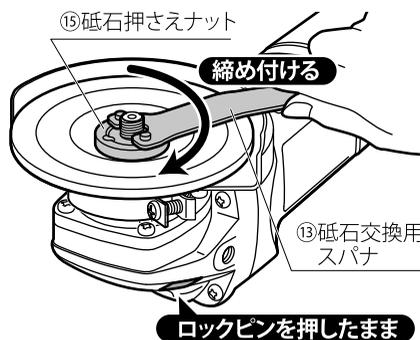


- 2** ロックピンを押しながらオフセット砥石を回し、回転が固定される場所を探してください。



各部の名称

- 3** オフセット砥石が固定されたら、付属の砥石交換用スパナで砥石押さえナットを締め付けてください。



安全上のご注意

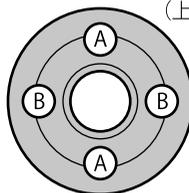
ご使用前の準備

! 砥石交換後は、作業前に必ず人のいない方向に向けて試運転をし、砥石に異常のない事を確認してください。

- 砥石押さえナットには穴が4つあります。図のA-Aの穴とB-Bの穴に均等に力が加わるように締め付けてください。

砥石押さえナットの締め付け方

(上から見た図)



A-Aの穴とB-Bの穴を均等に締め付けてください。

使いかた

その他



ご使用前の準備

■付属のソフトパッド・サンディングペーパーディスクの取り付け

ソフトパッド・サンディングペーパーディスクは「木材・金属の磨き、面取り、塗装はがし、サビ落とし」時に使用します。使用時は、回転速度も調整してください。

■回転速度の確認 P15➡

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

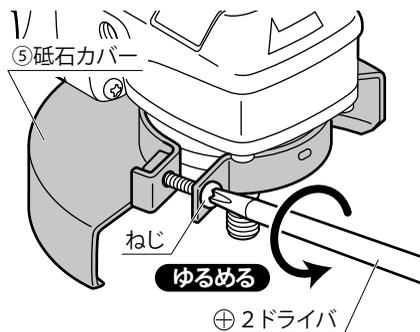
使いかた

その他

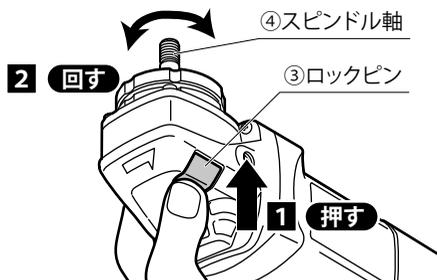
- 1** P10、P11「付属のオフセット砥石の取り付け」の手順を参考とし、砥石を外してください。

※砥石押さえナット、砥石支えワッシャは使用しないので、取り外してください。

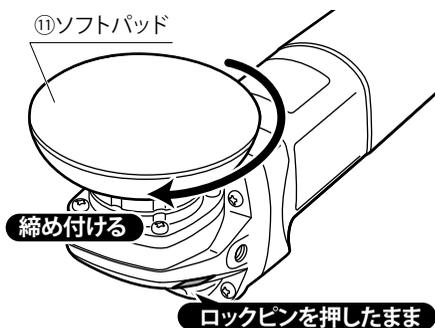
- 2** 砥石カバーの上部についているねじをゆるめ、砥石カバーを外してください。



- 3** ロックピンを押しながらスピンドル軸を回し、スピンドル軸が固定される場所を探してください。

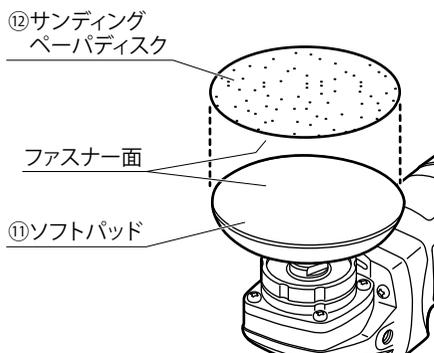


- 4** スピンドル軸が固定されたらソフトパッドを矢印の方向に回して取り付け、確実に締め付けてください。



5 ソフトパッドとサンディングペーパーディスクのファスナー面同士を合わせ、全体を強く押し付けてください。

※ソフトパッドの中心からサンディングペーパーディスクがずれないように取り付けてください。



取り付けが不十分な場合や、加工材に当てず空回しを行うと、ソフトパッドやサンディングペーパーディスクが外れてしまいますのでご注意ください。



長期間の使用によりファスナー固定が弱くなる場合があります。定期的を確認し、固定が弱い場合は使用しないでください。



ソフトパッドのみで加工はできません。ファスナー面が使用できなくなりますので、絶対におやめください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



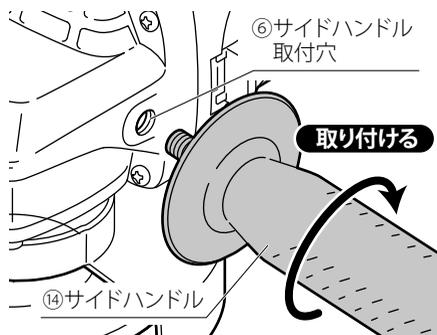
ご使用前の準備

■ サイドハンドルの取り付け

- サイドハンドルは本体を支えるための補助ハンドルです。安定した作業を行うために、併用することを推奨します。

本体のサイドハンドル取付穴に取り付けて使用してください。

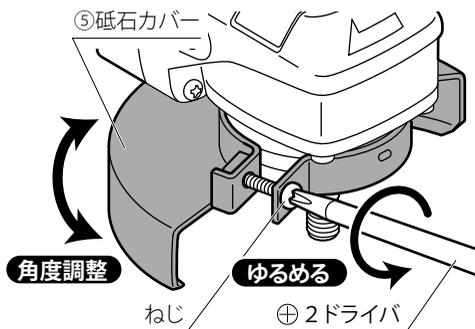
- ※ サイドハンドル取付穴にはキャップが付いています。キャップを外してからサイドハンドルを取り付けてください。
- ※ 外したキャップはなくさないよう保管してください。サイドハンドルをご使用にならない場合は、キャップをはめて使用・保管してください。
- ※ サイドハンドル取付穴は本体の左右両側にあります。用途に合わせて、付け替えてご使用ください。



■ 砥石カバーの角度調整

- 砥石カバーは研磨時の粉じんや、研削時の火花、砥石の破損から作業者を守るための安全カバーです。作業時の状況に合わせて角度調整を行ってください。

砥石カバーの上部についているねじをゆるめ、角度調整を行ってください。調整後、ねじを締め直してください。



砥石カバーは安全のため、絶対に外さずにご使用ください。



切断砥石をご使用の際は、必ず別売の切断砥石カバーを取り付けてください。
切断砥石カバーを取り付けずに切断作業を行うと、事故やけがの原因となります。

■ 別売品について **P24**



使用方法

■回転速度の確認

P18「回転速度調整」を参照し、回転速度の調整確認をしてください。

※付属先端パーツでの調整

先端パーツ	加工材	作業内容	回転速度の目安
オフセット砥石	金属	研削	6,000～10,000
		荒研削	11,000
サンディングペーパーパディスク +ソフトパッド	木材・金属	磨き・面取り・ 塗装はがし・サビ落とし	4,000～6,500



誤った回転速度で使用すると、砥石の破損、本機の故障の原因となります。十分に確認し調整してください。



サンディングペーパーパディスク使用時は、必ず回転速度調整ダイヤルを4,000～6,500回転になるように調整して使用してください。摩擦熱により変形したり、取り付けや使用ができないなどの原因となります。



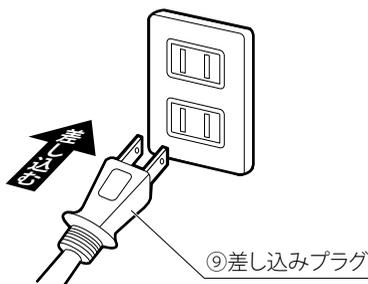
回転数が著しく低下してしまう場合、回転速度調整ダイヤルを調整して回転数を上げてください。



回転数が安定しない場合は、回転速度調整ダイヤルの設定を「3～6」にし、1分程度の慣らし運転を行ってください。

■電源スイッチの確認

電源スイッチがOFFになっていることを確認し、差し込みプラグを電源に差し込んでください。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



使用方法



使用前に、砥石に割れやヒビ、欠け等が無いか確認し、試運転（砥石交換時3分以上、その日の作業開始時1分以上）を行ってください。



本機はDIY用として設計されています。一般家庭用としてご使用ください。

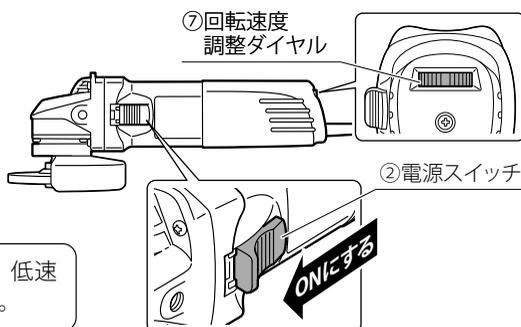


切断作業はモータに負担がかかりやすい作業です。故障を防ぐため、無理に押し付けるなどしないよう注意しながら、少しずつ作業を行ってください。
※切断作業には別途切断砥石と切断砥石カバーが必要です。

■使用方法

1

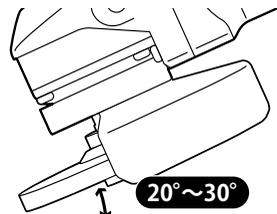
回転速度調整ダイヤルの設定が「3～6」になっていることを確認し、本体をしっかりと持って、電源スイッチをONにします。



「1～2」の設定で作動させると、低速回転が安定しない場合があります。

2

回転速度調整ダイヤルを、加工材・作業に合わせた設定にします。砥石を研削する材料の面に、軽く当てる程度で保持してください。自重で研削することができます。砥石を当てる角度は、材料の面に対し20°～30°位が適当です。



無理に押し付けるなどの、回転速度を大幅に落とすような負担をかけないでください。故障の原因となります。

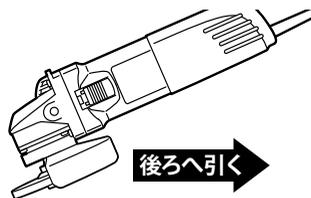


砥石の全面を材料に当てないようにしてください。

3

砥石が新しい時は後へ引くようにして使用してください。周囲の角が少し摩耗してきたら、前方向に進めても、後へ引いても使用できます。

※サンディングペーパーディスクを取り付けている場合も、同様に使用してください。



■終了手順

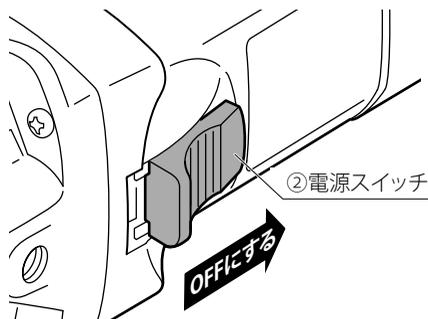
- 1** 電源スイッチをOFFにします。
回転が完全に停止したのを確認
してから本機を置いてください。



電源スイッチをOFFにした後も、惰
性で回転している砥石に注意してく
ださい。手や身体に触れると、けが
の原因となります。



加工直後の加工物や砥石は、大変
熱くなっていますので絶対に素手で
触らないでください。



各部の
名称

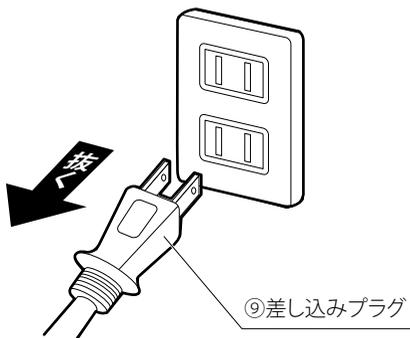
安全
上のご
注意

ご使
用前
の準
備

使
いか
た

そ
の
他

- 2** 電源から差し込みプラグを抜い
てください。





使用方法

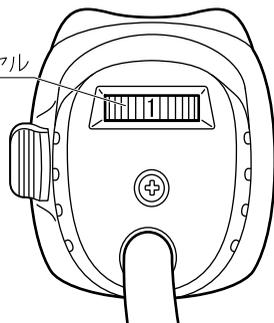
■ 回転速度調整

回転速度調整ダイヤルで、加工材・作業に合わせた回転速度に調整が可能です。

■ 回転速度調整ダイヤルの回転速度目安

回転速度 調整ダイヤル	回転速度 (min ⁻¹)	
	50Hz	60Hz
1	6,500	3,000
2	7,000	4,000
3	8,000	6,000
4	9,000	7,500
5	10,000	9,000
6	11,000	10,500

⑦ 回転速度
調整ダイヤル



■ 加工材・作業による回転速度調整の目安

加工材	作業内容	先端パーツ	回転速度の目安	付属品 対応
木材・金属	磨き・面取り・ 塗装はがし・サビ落とし	サンディングペーパーディスク +ソフトパッド	4,000~6,500	○
木材・金属	研磨・塗装はがし・ バリ取り	カップブラシ	5,000~6,500	×
金属	磨き	フェルトディスク +ソフトパッド	5,000~6,500	×
金属	研磨・塗装はがし・ サビ落とし	ナイロンディスク +ソフトパッド	5,000~6,500	×
金属	研削	研削砥石 (オフセット砥石)	6,000~10,000	○
金属	荒研削	研削砥石 (オフセット砥石)	11,000	○
金属	切断	切断砥石	11,000	×
石材・コンクリート	切断	ダイヤモンドホイール	11,000	×



この表はあくまで目安です。作業前に加工材と同一のものでテスト加工し、適正回転速度に調整して使用してください。

各部の
名称

安全上
のご注意

ご使用
前の準備

使いか
た

その他



ディスク用パーツの取り付け・取り外しの際は、必ず電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因となります。

■ディスク用パーツの取り付けについて

ディスクグラインダは、市販の交換パーツを砥石の代わりに付け替えることによって、様々な用途に使用することができます。



取り付け方は参考例として説明していますが、市販品によっては名称や取り付け方法が一部異なる場合があります。ご使用時には市販品の取扱説明書でご確認ください。



交換パーツはφ100ディスクグラインダ対応品をご使用ください。



各パーツ交換後は必ず3分間以上の試運転をして動作確認をしてください。



チップソー（丸鋸刃）は使用しないでください。

■切断砥石の取り付け



最高使用周速度71m/s未満の切断砥石は使用しないでください。

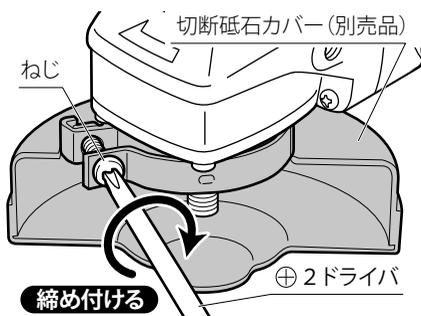


必ず別売の切断砥石カバーを取り付けてください。

1

本体に取り付けられている砥石カバーを外し、別売の切断砥石カバー（品番DGSA100-C）を取り付けてください。

■別売品について **P24**



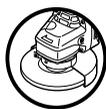
各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



使用方法

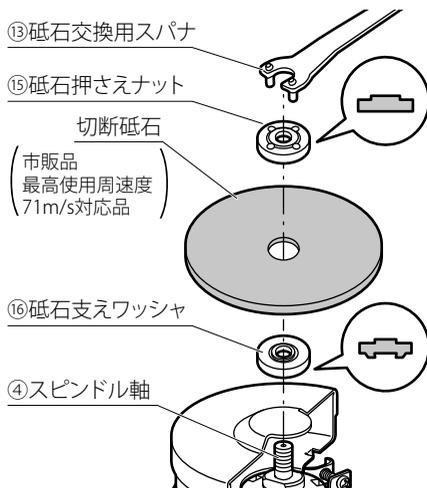
■切断砥石の取り付け(つづき)

2 切断砥石(市販品)に専用の砥石
支えワッシャ、砥石押さえナット
が付属している場合は、そち
らをご使用ください。

3 市販品に専用の砥石支えワッ
シャ、砥石押さえナットが付属
していない場合は、本機に付属
の砥石支えワッシャと砥石押さ
えナットを使用し、右図の順番
と向きで差し込んでください。

4 ロックピンを押しながら、付属の
砥石交換用スパナで確実に締
め付けてください。

- 切断作業は特に負荷かかりやすい作業です。故障を防ぐため、回転速度が大幅に低下しないよう注意しながら、少しずつ作業を行ってください。

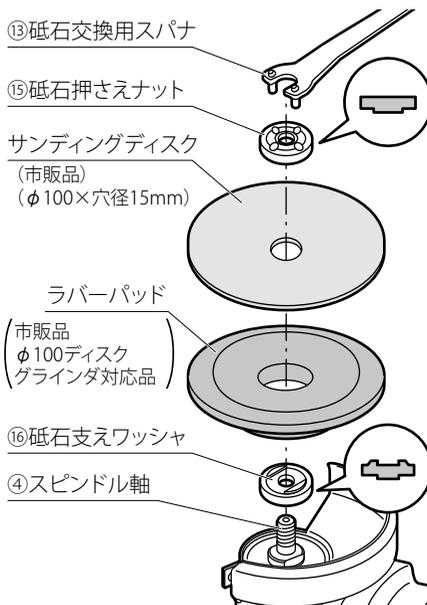


■サンディングディスクの取り付け

1 サンディングディスク(市販品)
に専用の砥石支えワッシャ、砥
石押さえナットが付属してい
る場合は、そちらをご使用くだ
さい。

2 市販品に専用の砥石支えワッ
シャ、砥石押さえナットが付属
していない場合は、本機に付属
の砥石支えワッシャと砥石押さ
えナットを使用し、右図の順番
と向きで差し込んでください。

3 ロックピンを押しながら、付属の
砥石交換用スパナで確実に締
め付けてください。

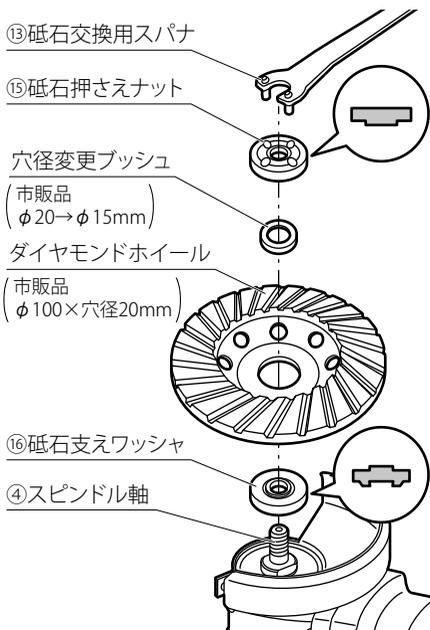


■ダイヤモンドホイールの取り付け

1 穴径20mmのダイヤモンドホイール(市販品)を使用する場合は、ダイヤモンドホイールに付属の穴径変更ブッシュ(φ20→φ15mm)をダイヤモンドホイールにはめてからご使用ください。

2 右図の順番と向きに、スピンドル軸に差し込んでください。

3 ロックピンを押しながら、付属の砥石交換用スパナで確実に締め付けてください。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

■カップワイヤブラシ／ベベルワイヤブラシの取り付け

1 砥石支えワッシャ、砥石押さえナットを使用せず、直接スピンドル軸に取り付けます。

2 ロックピンを押しながら、市販のスパナでワイヤブラシの六角ナット部を締め付けます。



使いかた

その他



保守と点検



お手入れや点検の際は、必ず電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因となります。

■保守と点検

- 砥石の外径が60mm位まで摩耗したら、市販のオフセット砥石(外形100mm)と交換してください。 **P9**
- 各部取付ねじにゆるみがないか点検してください。ゆるんでいたら、確実に締め付けてください。
- モータの内部には、水、オイルなどは絶対に入れないでください。
- モータ内部のホコリやゴミを取り除くときは、本機を無負荷で回転させて、本体後部の吸気口から湿気のない乾燥した空気を吹き込んでください。



次の場所には保管しないでください。

- ・ 軒先など雨がかったり、湿気のある所
- ・ お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- ・ 直射日光の当たる所



必ず電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜いてください。事故やけがの原因となります。

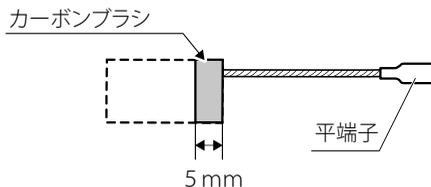
カーボンブラシの点検・交換には、⊕2ドライバとペンチ等が必要です。予めご用意ください。

■カーボンブラシの交換方法

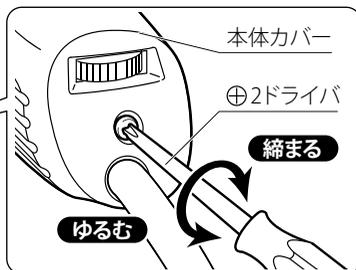
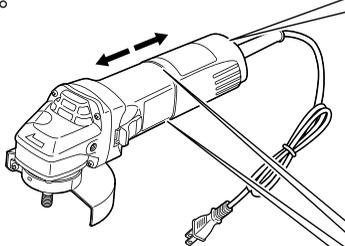
●カーボンブラシは定期的に点検し、5 mm程度になったら新品と交換してください。

※カーボンブラシは別売しております。お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。

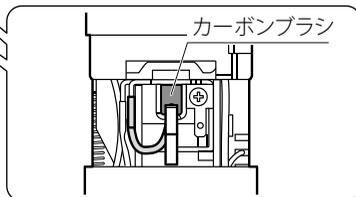
■別売品について **P24**



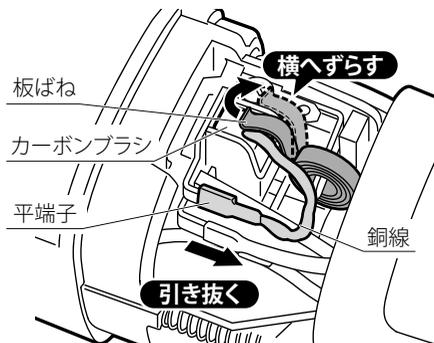
1 ⊕2ドライバで本体背面のねじを取り外し、カバーを本体から引き抜きます。



2 カーボンブラシは上下に1個ずつ付いています。次の手順で必ず両方交換してください。



3 カーボンブラシを押しえている板ばねを横へずらし、ペンチ等で平端子を引き抜いて、古いカーボンブラシを取り出してください。



板ばねをずらす時は、必ず右記イラストと同じ方向へずらしてください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

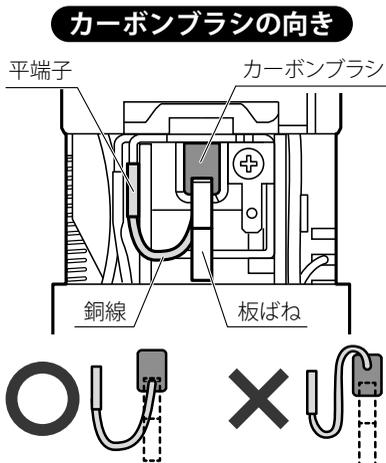


保守と点検

■カーボンブラシの交換方法(つづき)

- 4** 板ばねと新しいカーボンブラシの平端子を、取り外した時と逆の手順で元の通りに取り付けてください。

! カーボンブラシを入れる時は銅線の付いている位置を確認して、向きに注意して入れてください。
銅線が板ばねに押さえ付けられるように取り付けてください。



- 5** 反対側のカーボンブラシも同様に交換し、カバーとねじを元の通りに取り付けてください。

- カーボンブラシは2個で1組になっております。交換は必ず同時に行ってください。
- カバーを本機に取り付ける際に他の部品を挟まないように注意してください。
- カバーの取り付けねじは、きつく締めすぎないでください。

■別売品について

- 別売品一覧表

名 称	品 番
ソフトパッド	DGSA100-SPII
サンディングペーパーディスク #40 (5枚入)	DGSA100-S40
サンディングペーパーディスク #80 (5枚入)	DGSA100-S80
サンディングペーパーディスク #240 (5枚入)	DGSA100-S240
フェルトディスク	DGSA100-F
ナイロンディスク 荒目	DGSA100-NR
ナイロンディスク 中目	DGSA100-NM
ナイロンディスク 細目	DGSA100-NF
切断砥石カバー	DGSA100-C
カーボンブラシ (2個入)	DGSC-ST-CB



故障かな？と思ったら

●次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
作動しない	①差し込みプラグが外れている	①差し込みプラグを正しく電源に差し込んでください。
	②モータの不良	②お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。
	③カーボンブラシが摩耗している	③カーボンブラシの交換が必要です。手順に従ってカーボンブラシを交換してください。 P23 ▶
回転速度が上がらない	①電圧が低い	①正しい電圧で使用してください。 P5・P26 ▶
	②延長コードが長すぎる	②電源に近い場所で作業してください。
	③回転速度調整ダイヤルが低く設定されている	③加工材・作業に合わせて回転速度を調整してください。 P18 ▶
	④砥石を無理に押し付けている	④無理に押し付けず、自重で作業を行ってください。 P16 ▶
	⑤回転速度が加工材・作業に合っていない	⑤加工材・作業に合わせて回転速度を調整してください。 P18 ▶
低速回転速度が安定しない	①電源スイッチON時の回転調整ダイヤルの設定が低い	①回転調整ダイヤルを「3～6」に設定してから、電源スイッチをONにしてください。 P16 ▶
	②慣らし運転をしていない	②回転速度調整ダイヤルの設定を「3～6」にし、1分程度の慣らし運転をしてください。 P15 ▶
作業効率が上がらない	回転速度が加工材・作業に合っていない	加工材・作業に合わせて回転速度を調整してください。 P18 ▶

※上記のチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。

お問い合わせや、ご連絡がないまま直接当社に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

型 式	DGSC-ST			
定 格 電 圧	AC100V			
定 格 周 波 数	50/60Hz			
定 格 消 費 電 力	600W※回転速度ダイヤル「6」時			
定 格 時 間	30分			
回 転 速 度	50Hz		60Hz	
	回転速度 調整ダイヤル	回転速度 (min ⁻¹)	回転速度 調整ダイヤル	回転速度 (min ⁻¹)
	1	6,500	1	3,000
	2	7,000	2	4,000
	3	8,000	3	6,000
	4	9,000	4	7,500
	5	10,000	5	9,000
6	11,000	6	10,500	
取付可能砥石サイズ	外径100mm×穴径15mm			
電 源 コ ー ド 長	約1.8m			
質 量	約1.8kg (付属のオフセット砥石取付時)			
絶 縁 方 式	☐ 二重絶縁			
セ ッ ト 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体……………1台 ・ オフセット砥石……………1枚 ・ ソフトパッド……………1個 ・ サンディングペーパーディスク(#40・#80)…各5枚 ・ サイドハンドル……………1個 ・ 砥石押さえナット……………1個 ・ 砥石支えワッシャ……………1個 ・ 砥石交換用スパナ……………1個 ・ 取扱説明書……………1冊 			

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名	変速ディスクグライнда		お買い上げ日※	年 月 日
型式	DGSC-ST		保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	様	販売店※	住所名 電話番号
	ご氏名			
	電話番号			

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

株式会社 パオック

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
 TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
 URL <https://www.paock.co.jp>